

SEASON REPORT



ごあいさつ

令和7年度 第3四半期概況

保証承諾 保証債務残高 代位弁済

Business Report

アドバンスコンポジット株式会社

Topics

- 県内の学生向け金融教育に関する講義を実施
- 職員向け「中小企業を強くするマーケティングゼミ」を開催
- 業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会を開催
- 経営発展セミナーを開催
- 信用保証業務推進協議会および外部評価委員会を開催
- しずおか中小企業支援ネットワーク連絡会議を開催
- 第6回ちあふるマルシェを開催
- 職員向け「IT分野に関する研修」を開催
- 新規ノベルティグッズの作製
- 無料経営相談実施中
- 会社説明会開催のお知らせ



SHIZUOKA GUARANTEE

静岡県信用保証協会

CONTENTS

ごあいさつ 1

令和7年度 第3四半期概況 2
保証承諾 保証債務残高 代位弁済

Business Report 6

アドバンスコンポジット株式会社



Topics 8

- 県内の学生向け金融教育に関する講義を実施
- 職員向け「中小企業を強くするマーケティングゼミ」を開催
- 業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会を開催
- 経営発展セミナーを開催
- 信用保証業務推進協議会および外部評価委員会を開催
- しずおか中小企業支援ネットワーク連絡会議を開催
- 第6回ちあふるマルシェを開催
- 職員向け「IT分野に関する研修」を開催
- 新規ノベルティグッズの作製
- 無料経営相談実施中
- 会社説明会開催のお知らせ



〈表紙写真〉
岩本山公園の梅と富士山
Yoshitaka/PIXTA



当協会オリジナルキャラクター「しずぼ」

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃は、当協会の業務運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県内の景気は一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しているとされております。一方で、人手不足や原材料価格の高止まりなど中小企業・小規模事業者の皆さまを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いていると認識しております。

当協会の状況であります。令和7年度上半期におきましては、特に年度初めにおいて米国関税による経済の先行き不透明感が高まっていたところ、昨年3月に創設された全国統一制度の「協調支援型特別保証」を積極的に活用し、資金繰り支援に努めてまいりました。

下半期につきましては、米国関税の影響は限定的と言われておりますが、先行きの懸念は残っており、今後の動向に注意を払っていく必要があると考えております。また、日中関係の悪化による経済への影響についても注視をしていく必要があると考えております。

こうしたことから、当協会といたしましては、引き続き、「協調支援型特別保証」を活用した資金繰り支援に、金融機関の皆さまとともに取り組んでまいります。

また、昨年度整備した保証部門と経営支援部門の連携をさらに深化させ、金融支援と経営支援の一体的かつ柔軟な対応に努め、資金繰りに余裕がある段階からの早期支援に関係機関の皆さまとともに取り組んでまいります。

さらに、信用保証を通じたスタートアップ支援につきましても、金融機関や支援機関の皆さまとの連携を拡大してまいりますとともに、令和7年4月に創設した「スタートアップ推進保証（ファンド協調型）」の活用を図るなど、県内の創業を積極的に後押ししてまいります。

このほか、協会経営におきましては、健全性を保ち、コンプライアンス意識を高めるとともに、人的資本経営の考え方による人材育成の強化や女性活躍のさらなる推進、男女ともに働きがいのある職場環境の整備を進めてまいります。

今年の干支は、午であります。さらに丙午であります。丙午の年は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」と言われております。当協会といたしましても、従来の考え方やルールにとらわれない柔軟な思考やスピード感を持って、世の中の変化に対応してまいりたいと考えております。

本年も、金融機関をはじめ関係諸機関の皆さまとの連携を強化し、「中小企業に寄り添い、地域から必要とされる協会」を目指して、役職員一同、全力で取り組んでまいります。

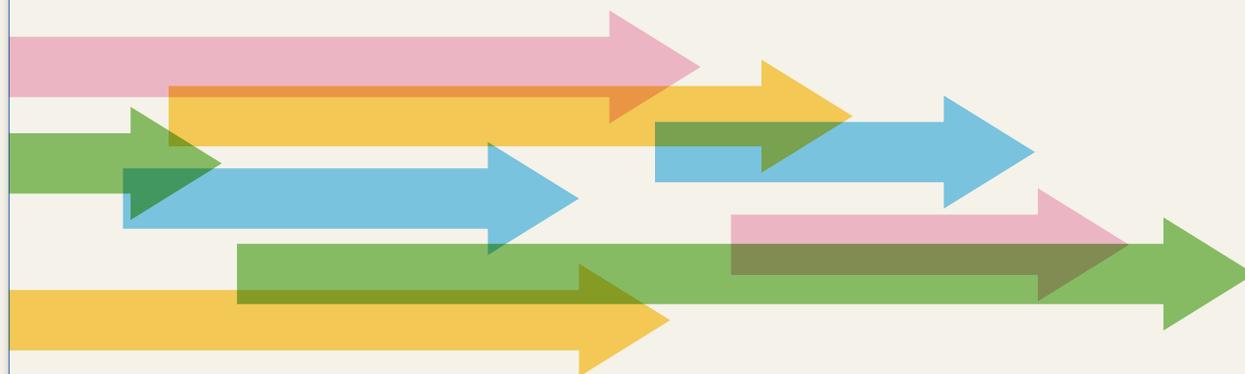
改めまして、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が良き年となりますよう、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和8年1月

会長 吉林 章仁



令和7年度 第3四半期概況



- ◆ 保証承諾は、第3四半期において4,756件、541億円と、前年同期比で件数115.6%、金額121.5%となりました。
- ◆ 保証債務残高は、99,982件、1兆314億円と、前年同期比で件数98.4%、金額95.9%となりました。
- ◆ 代位弁済は、第3四半期において365件、38億円と、前年同期比で件数85.3%、金額78.8%となりました。
- ◆ 保証利用企業者数は、45,798企業となり、前年同期比97.8%となりました。

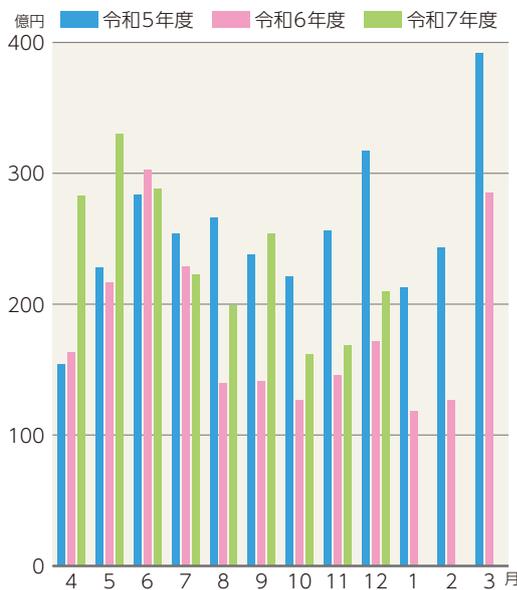
(単位:件、億円)

		第3四半期中		年度累計	
			前年同期比		前年同期比
保証承諾	件数	4,756	115.6%	15,878	113.2%
	金額	541	121.5%	2,117	129.2%
保証債務残高	件数	—	—	99,982	98.4%
	金額	—	—	10,314	95.9%
代位弁済	件数	365	85.3%	1,107	101.2%
	金額	38	78.8%	121	111.0%
保証利用企業者数		—	—	45,798	97.8%

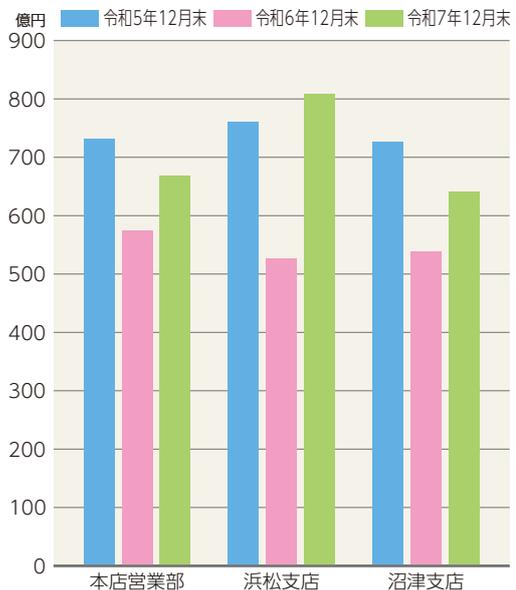
1 保証承諾

- 保証承諾は(年度累計)、15,878件、2,117億円と、前年同期比で件数113.2%、金額129.2%となりました。本店営業部、浜松支店、沼津支店の全店で増加となっています。
- 制度別構成比では、協調支援型特別保証57.0%、無担保当座貸越15.1%、県制度8.8%の順となっています。
- 業種別構成比では、製造業27.5%、建設業27.1%、サービス業13.3%の順となっています。
- 今年度は、令和7年3月から取扱いを開始した「協調支援型特別保証」が積極的に利用されています。

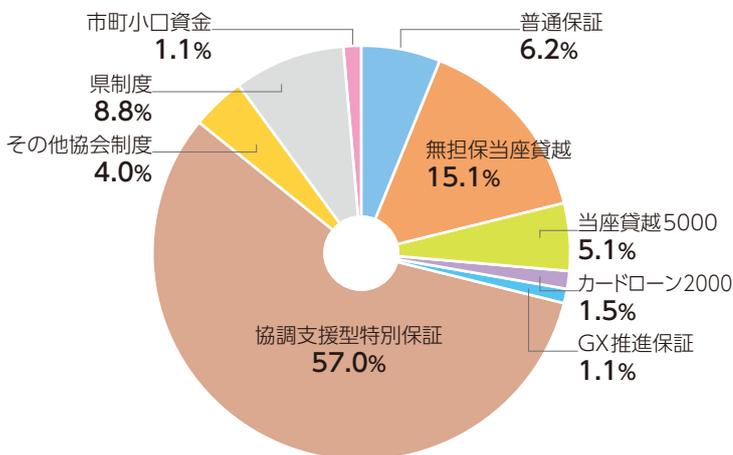
●月別保証承諾金額



●本支店別保証承諾金額

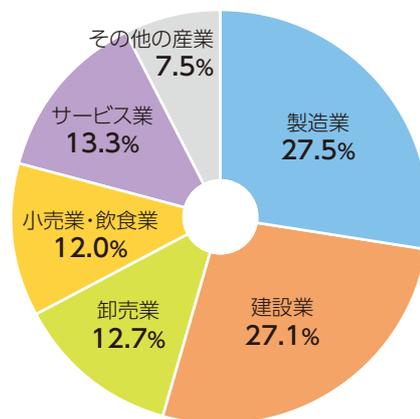


●制度別保証承諾 (構成比)



保証承諾金額(累計) 2,117億円

●業種別保証承諾 (構成比)



保証承諾金額(累計) 2,117億円

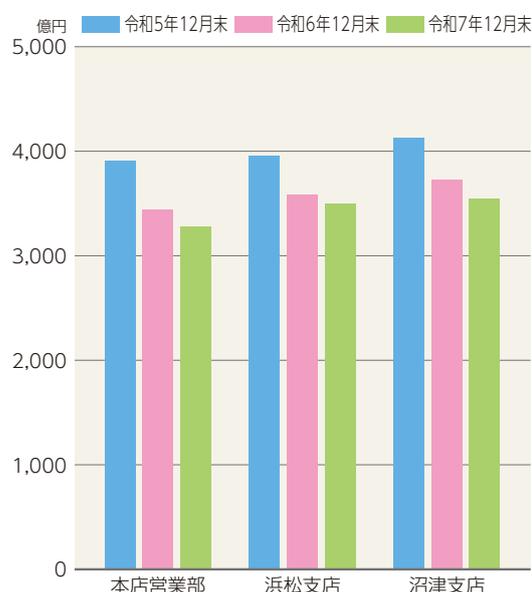
2 保証債務残高

- 保証債務残高は、99,982件、1兆314億円と、前年同期比で件数98.4%、金額95.9%となりました。本店営業部、浜松支店、沼津支店の全店で減少となっています。
- 制度別構成比では、県制度47.4%、無担保当座貸越10.6%、協調支援型特別保証9.9%の順となっています。
- 業種別構成比では、製造業28.5%、建設業23.8%、小売業・飲食業14.3%の順となっています。
- 協調支援型特別保証の積極的な利用により、5月、6月は前月より増加しましたが、コロナ関連保証の返済等を主要因として7月以降は減少傾向にあります。

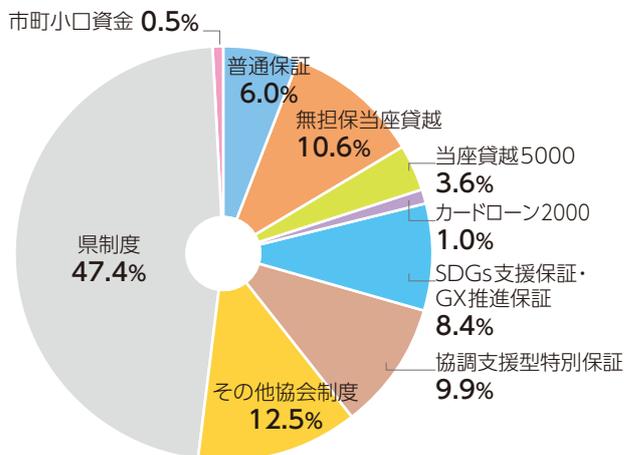
● 月別保証債務残高



● 本支店別保証債務残高

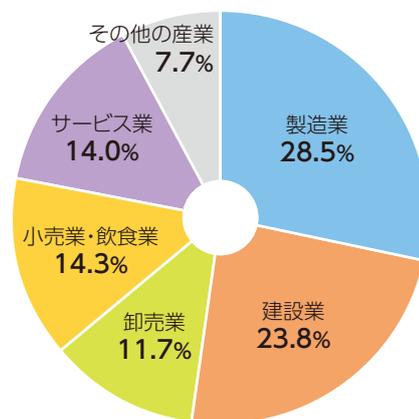


● 制度別保証債務残高 (構成比)



保証債務残高 1兆314億円

● 業種別保証債務残高 (構成比)

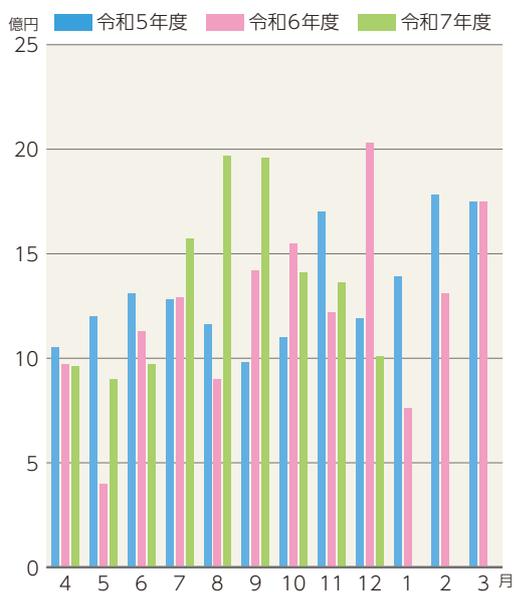


保証債務残高 1兆314億円

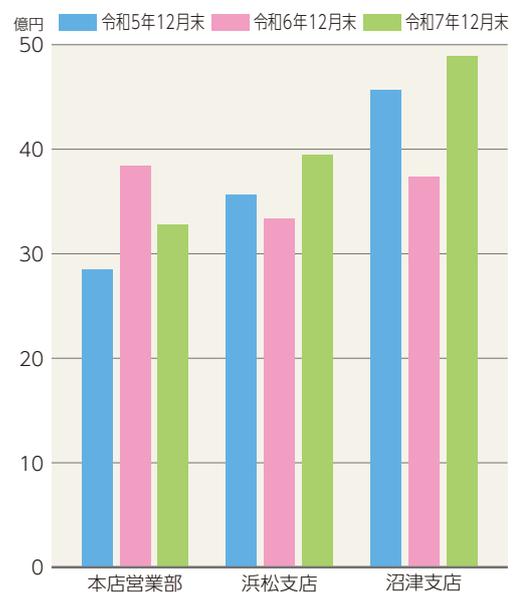
3 代位弁済

- 代位弁済 (年度累計) は、1,107件、121億円と、前年同期比で件数101.2%、金額111.0%となりました。本店営業部では減少、浜松支店および沼津支店では増加となっています。
- 制度別構成比では、県制度48.3%、普通保証10.9%、無担保当座貸越9.3%の順となっています。
- 業種別構成比では、製造業37.0%、建設業20.1%、小売業・飲食業16.0%の順となっています。
- 今後も、人手不足や原材料・エネルギー価格の高騰等の影響により増加が見込まれるため、引き続き留意してまいります。

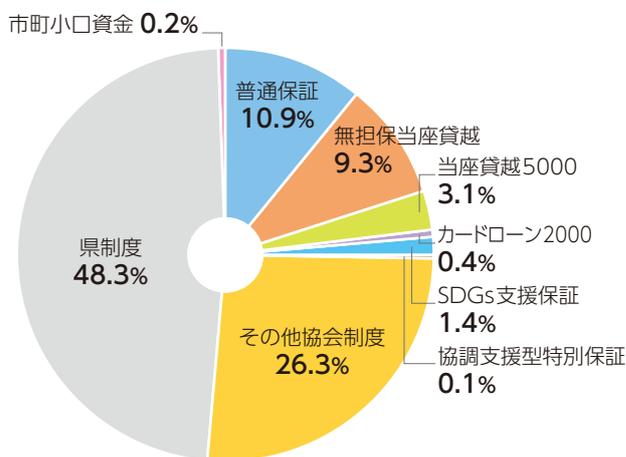
●月別代位弁済金額



●本支店別代位弁済金額

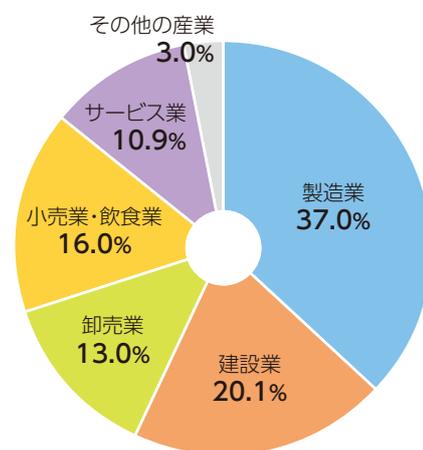


●制度別代位弁済 (構成比)



代位弁済金額(累計) 121億円

●業種別代位弁済 (構成比)



代位弁済金額(累計) 121億円

新たな複合素材で、 地球の未来を支えていく



アドバンスコンポジット株式会社
服部淳一 代表取締役社長

世界が注目する 驚きの「新複合素材」

近年、世界中でCO₂抑制などの地球温暖化への対応が大きな課題となっています。産業や経済の発展と環境保護の両立という、私たち人類に課せられた難題に対し、弊社は「複合素材」という素材の分野で取り組んでいます。複合素材とは、アルミや銅などの

金属とセラミックスやグラファイトなどの強化材を組み合わせ、単一の素材では達成できない特性を実現する、これまでにない新たな素材です。例えば、鉄の剛性はそのままに軽量化したり、銅以上に放熱性を高めたりと、組み合わせ次第で特性を飛躍的に向上することが可能です。つまり、従来の素材を複合素材に替えることで省エネや省資源、エネルギー効率向上などが図れ、環境負荷低減に貢献できるのです。

技術の中核を担う 「溶湯鍛造法」とは

しかし、性質が全く異なる素材を組み合わせることは、非常に困難です。それを可能にしたのが、弊社のコア技術である「溶湯鍛造法」という高圧 casting 法です。これは、溶けた金属を凝固するまで高い圧力で押し固めることにより、**鑄巣***のない高強度の素材を作ることができる技術です。1800年代にロシアで生まれ、日本でも1970年代に盛んに研究されましたが、コストが高い、加工性や生産性が悪いなど、様々な理由で普及はしません

※代表的な鑄造欠陥のひとつで、鑄造物の中に空洞が発生する現象。



でした。弊社ではこの技術を応用し、異素材を組み合わせる独自の複合化技術として確立させました。

複合素材が叶える 様々な課題解決

弊社では、主に3つの領域の複合素材を開発し、事業化を進めています。「軽量／高剛性／複合素材」は、鉄並の強度とアルミ並の軽さを実現した素材で、重さは鉄の約1/3です。自動車部品やエアコン圧縮機の回転体、半導体製造装置など動くものに最適で、軽量化によって消費エネルギーを抑えられ、生産性・効率の向上、製品の長命化などの効果が期待できます。

次の「高熱伝導／低熱膨張／軽量／複合素材」は、銅を超える高熱伝導とセラミック級の低熱膨張を併せ持ち、電子デバイスやGPU・パソコン・データサーバーなどに使われます。動作時に起こる発熱というボトルネックを解決し、デバイスのパフォーマンス維持改善や、温度上昇防止による省エネにも役立ちます。

そして「放射線遮蔽／軽量／複合素材」は、重く人体に有害な鉛に替わりX線やγ線、中性子線などの放射線を遮蔽するもので、人体やデバイスを放射線から守る効果が見込め、半導体や原子力設備、医療・航空宇宙・防衛などの分野で使われます。



スタートアップとして 起業を決意させた「ACM」の可能性

私が起業を決めたのは、アルミとグラファイトを複合した新素材との出会いがきっかけでした。大学卒業後、不動産業に従事しつつ、優れたものづくりの技術を持つメーカーへの経営参画を探っていた時、知人から「複合化技術」を持つ会社を紹介されたのです。その素材は高い熱伝導性と放熱性、低い膨張率が特長で、素人ながら「今後間違いなくニーズが高まる素材だ」と直感し、技術を継承して会社を立ち上げようと思えました。そして弊社が開発したアルミとグラファイトの新複合素材「ACM」は、ダイヤモンドに次ぐ熱伝導性やセラミックス級の低膨張率に加え、耐久性も備えているもので、今後5年以内にGPUなどハイエンド製品を中心にナンバー1の特性を持つ放熱素材として急激にシェアを伸ばしていくと考えています。



自由な発想と挑戦で 開発に取り組む

お客様の要望は実に様々で、中には大企業でも応えられなかった相談を持ちかけてくる方もいます。それに対し、弊社では独自の複合化技術と豊富な経験を活かし、最適な素材の組み合わせや配合などを設計・提案しています。また、素材に新たな付加価値をつけるべく、複合素材の開発にも挑戦しています。弊社の開発者たちは発想が豊かで、その思いつきを「やってみよう」の精神で開発に活かしています。

現在、弊社では20歳代前半～70歳代前半の幅広い世代が働いており、人間力と経験値の高いシニア層を特に積極的に採用しています。彼らの中には自らの技術を次世代に伝えたい、という高い精神を持つ人が多く、大きな活躍が期待できます。技術はもちろん人間性の高い人材を育て、企業の質を高めていきたいと考えています。

地球の未来を支える 素材インフラ企業へ

「地球の未来を素材で支える」という理念のもと、新素材を次々と開発し、これからの社会に必須とされる素材インフラ企業を目指しています。静岡発・日本発の環境にやさしいディープテック企業として世界を相手に戦い、最先端のものづくりに欠かせない影響力を持つ企業であり続けたいと思います。



企業データ



- 会社名 / アドバンスコンポジット株式会社
- 代表取締役社長 / 服部淳一
- 所在地 / 静岡県富士市大淵2259番地9
- TEL / 0545-32-7904 FAX / 0545-32-7905
- 設立 / 2015年7月22日
- 事業内容 / 溶湯鍛造による金属基複合素材及び接合製品の開発、製造並びに販売

〈取得認証〉

- ISO 9001:2015

企業公式HP <https://advance-composite.co.jp/>

▼ 企業公式HP



▼ 事業概要紹介動画



県内の学生向け金融教育に関する講義を実施

当協会では、毎年度、金融教育による地域貢献活動として県内の学生向けに講義を行っています。

今年度は、7月14日に静岡県立大学、10月28日に静岡産業大学において「中小企業金融と信用保証協会の役割」をテーマに協会職員が講義を実施しました。

また、11月28日に沼津情報・ビジネス専門学校において、「創業に関する講義」を実施し、創業計画の立て方や資金調達の基礎などを説明しました。

今後も積極的に社会貢献活動や広報活動に取り組んでいきます。



静岡県立大学での講義の様子

職員向け「中小企業を強くするマーケティングゼミ」を開催

当協会では、令和5年度から、静岡県立大学の岩崎邦彦教授に講師を務めていただき、若手から中堅の職員を対象に、「中小企業を強くするマーケティングゼミ」と題したゼミ形式の勉強会を開催しています。

令和7年度は、7月から11月に月1回開講(全5回)し、8名の職員が受講しました。ゼミ生からは、「自分自身の中にはなかった思考法や発想の転換に触れ、難しく感じる部分もあったが、物事への柔軟な見方が身に付いた。」といった感想が寄せられ、大いに充実したものとなりました。

今後も職員のレベルアップを図り、顧客満足度の向上につなげていきます。



岩崎教授とゼミ生の集合写真

業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会を開催

令和7年11月20日、業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会を開催しました。本運動は、職員が身近な業務を見直し、自発的に改革・改善を実施することにより、仕事の質を高め、生産性の向上につなげるとともに、中小企業者へのサービス向上を図ることを目的に平成24年度から実施しています。

今年度は143件の提案事例報告があり、最終的に選ばれた10事例の発表と表彰が行われました。

今後も役職員一丸となって継続的かつ積極的に業務改善に取り組み、生産性とサービスの向上に努めていきます。



業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会

経営発展セミナーを開催

令和7年11月21日、経営発展の必要性とその取組方法について参加者に理解を深めてもらうことを目的として、「経営発展セミナー」を開催しました。

セミナーは、会場とオンライン配信のハイブリッド開催とし、中小企業者や支援機関、金融機関など会場36名、オンライン配信35名の合計71名にご参加いただきました。

当日は、株式会社コプレック 代表取締役 ^{ひさのり}小林永典氏に『「工場を、誇ろう。」プロジェクトに学ぶ 人材育成・人手不足対策～求職者3.5倍の裏側～』と題して、人手不足に悩む中小企業者が多い中、人材育成の取組を軸に、いま中小企業者が取り組むべきことについてご講演をいただきました。

受講者からは、「工場には人が来ないという『常識』に甘えていたことを反省する機会となりました。」等の感想が寄せられ、非常に有意義なセミナーとなりました。



小林氏による講演の様子

信用保証業務推進協議会および外部評価委員会を開催

令和7年11月26日に「第35回信用保証業務推進協議会」を、12月5日に「令和7年度第2回外部評価委員会」を開催しました。

当協会から令和7年度上半期の業務実績や各種支援の取組について説明を行い、静岡県、商工団体、金融機関等の関係機関および外部評価委員の皆さまから、貴重なご意見をいただきました。

今後、いただいた意見を業務に反映し、地域経済の発展に貢献できるよう努めていきます。



信用保証業務推進協議会の様子

しずおか中小企業支援ネットワーク連絡会議を開催

令和7年12月8日、当協会が事務局を務める「しずおか中小企業支援ネットワーク連絡会議」を開催しました。金融機関および中小企業支援機関20機関が参加しました。

本会議は、中小企業者の経営支援に関する情報提供や意見交換などを通じ、その重要性について認識を共有し会員相互の連携強化を図ることを目的として定期的に開催しています。

今回の会議では、諏訪信用金庫 常勤理事 ビジネスサポート部長 奥山真司氏から、「諏訪信用金庫 事業者支援の取組みについて」をテーマに、事業者・金融機関・支援機関・保証協会が一体となり「総力戦」で、互いに対等な立場で力を合わせて事業の再構築を協働することの重要性について、ご講演をいただきました。



奥山氏による講演の様子

第6回ちあふるマルシェを開催

当協会では、起業者の成長・発展支援を目的とした「創業セミナー」を開催しており、今年度は県内3地区の会場で、各2回、創業に必要な知識等について学ぶセミナーを行い、延べ86名の方に受講いただきました。

令和7年12月20日には、学びを实践する出店イベント「第6回ちあふるマルシェ」を開催しました。今年度は開催時期を12月に変更したことから、広報物をクリスマス仕様とし、季節感のある情報発信を行いました。当日は雨天となりましたが、地域の起業家が、おいしいフードや素敵な雑貨、楽しいワークショップ等の26店舗でお出迎えし、地元の方を中心に287名のお客様にご来場いただき盛況のうちに終了しました。

当協会では、今後も積極的な創業支援を行い、起業に挑戦する皆さまを後押ししていきます。



創業セミナーの様子



ちあふるマルシェの様子

職員向け「IT分野に関する研修」を開催

令和7年12月3日、最新のデジタル技術に関する基礎的な知識向上を図るため、IT分野に関する研修を開催しました。

今回の研修では、中小企業診断士 長谷川徹氏に「生成AIの効果的な活用方法と活用事例」と題して、AIツールについて具体例を交えて解説いただき、理解を深めることができました。

当協会では、令和7年11月28日から生成AIサービスを試行的に導入し、業務への活用方法を検証しています。



研修の様子

新規ノベルティグッズの作製

当協会では、創立75周年となる令和6年12月にオリジナルキャラクター「しずぼ」が誕生しました。

第1弾ノベルティグッズを踏まえ、このたび第2弾として、カットメモ、リフレクターキーホルダーおよび多機能ボールペンの3種類を作製しました（一部作製中）。

また、ちあふるマルシェやビジネスマッチングフェア等のイベントにおいては、これまでスタッフウェアとして法被を着用していましたが、新たに「しずぼ」をデザインに取り入れたベースボールシャツを作製しました。

引き続き皆様に親しみを持っていただける取組を進めていきます。



無料経営相談 実施中

当協会の**本支店**では、中小企業・小規模事業者の皆さまのお悩みを解決するため無料経営相談を実施しています。特に、**毎週木曜日は受付時間を19時まで延長**してご相談にお応えします。お気軽にご相談ください。

商工会議所の相談会でも、協会職員が各種ご相談にお応えします。

	静岡商工会議所	浜松商工会議所	磐田商工会議所	袋井商工会議所	掛川商工会議所	沼津商工会議所
令和8年1月	7日(水) 13:00~16:00	6日(火) 10:00~12:00	15日(木) 17:00~19:00 20日(火) 10:00~12:00	9日(金) 13:30~16:00	15日(木) 10:00~12:00	14日(水) 10:00~12:00
2月	4日(水) 13:00~16:00	3日(火) 10:00~12:00	12日(木) 17:00~19:00 20日(金) 10:00~12:00	13日(金) 13:30~16:00	19日(木) 10:00~12:00	4日(水) 13:00~15:00 18日(水) 10:00~12:00
3月	4日(水) 13:00~16:00	3日(火) 10:00~12:00	12日(木) 17:00~19:00 23日(月) 10:00~12:00	13日(金) 13:30~16:00	19日(木) 10:00~12:00	4日(水) 13:00~15:00 18日(水) 10:00~12:00

会社説明会開催のお知らせ

対面
説明会

3/6 金 【午前の部】10:00~11:30
【午後の部】14:00~15:30

3/10 火 【午前の部】10:00~11:30
【午後の部】14:00~15:30

会場

本店

(静岡市葵区追手町5-4)

Web
説明会

3/13 金 【午前の部】10:00~11:00
【午後の部】14:00~15:00

Zoom

マイナビの登録メールに
URLをお送りします。

詳細・お申し込みは[マイナビ2027](#)へ!(2月12日公開予定)





SHIZUOKA GUARANTEE

静岡県信用保証協会

本店

〒420-8710

静岡市葵区追手町5-4 アーバンネット静岡追手町ビル4・5・6階

TEL.054-252-2120

浜松支店

〒430-8666

浜松市中央区田町330-5 遠鉄田町ビル6階

TEL.053-458-1212

沼津支店

〒410-8691

沼津市米山町6-5 沼津商工会議所会館3階

TEL.055-926-0100

<https://www.cgc-shizuoka.or.jp>

静岡 保証

検索

Web
相談



ホームページで
Web相談受付中!



友だち追加は
こちらから!

または ID検索 ▶ @cgc-shizuoka



SDGsとは、国連で採択された「持続可能な開発目標」の略称。環境やジェンダー平等など世界が統一して取り組むべき目標です。静岡県信用保証協会はSDGsの推進を支援しています。



FSC® 認証紙を使用しています。

この紙は適切に管理されたFSC® 認証林、再生資源及びその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

